

平成21年度海洋関連施策 (当初予算+補正予算)の概要

黒字:H21予算額
赤字:H21一次補正額

海洋を利用する

安定的な海上輸送の確保

- 日本籍船・日本人船員の増加を図るための総合対策
271百万円+250百万円 (国土交通省)
- 国際海上輸送網の拠点となるスーパー中枢港湾の整備
64,542百万円+84,375百万円 (国土交通省)

水産業の経営体質強化

- 水産業における省エネ・構造改革の推進
14,243百万円+19,861百万円 (農林水産省)

海洋を知る

エネルギー・鉱物資源開発の推進

- 三次元物理探査船等による石油・天然ガス賦存状況の調査
14,323百万円 (経済産業省)
- 海底熱水鉱床の開発に向けた採鉱技術、環境影響予測手法等の調査
1,000百万円 (経済産業省)
- メタンハイドレートの生産技術開発
4,526百万円 (経済産業省)
- 新海洋資源探査船の建造
20,000百万円 (経済産業省)

海洋調査・観測の推進

- 深海地球ドリリング計画、次世代深海探査技術の開発等の推進
39,010百万円+111百万円 (文部科学省)
- 地震・津波観測監視システムの構築
1,314百万円 (文部科学省)
- 海洋資源の利用促進に向けた基盤ツール開発プログラム
700百万円 (文部科学省)
- 地球温暖化に関する海洋観測・監視体制の強化
575百万円 (国土交通省)
- 我が国周辺の海底地形・地殻構造等の調査
1,692百万円 (国土交通省)

海洋を守る

海上の安全・治安の確保

- 海上の安全、治安の確保のための巡視船艇・航空機等の緊急整備
35,769百万円+15,131百万円 (国土交通省)
- AIS(船舶自動識別装置)を活用した海上交通センター機能の強化等
5,293百万円+1,539百万円 (国土交通省)
- 適切な海上防衛力を整備・維持するための、艦艇・航空機の取得等
178,051百万円【H25年度までの後年度負担額を含む】 (防衛省)
- ソマリア沖・アデン湾における海賊対処
14,505百万円 (防衛省)

離島の保全

- 離島の交通手段の維持・改善
5,898百万円+3,500百万円 (国土交通省)

海洋環境の保全

- 藻場・干潟等における漁業者を中心とした環境・生態系保全活動への支援
1,330百万円 (農林水産省)
- 船舶の省エネルギー化等による環境負荷低減
907百万円+586百万円(※) (国土交通省)

大陸棚限界画定の推進

- 大陸棚延長申請審査への対応
24百万円(5百万円)(※) (内閣官房、外務省、経済産業省、国土交通省)

国際協力

海洋に関する国際的な連携の確保

- 北西太平洋における海洋環境保全のための協力
125百万円 (外務省、環境省)

国際社会に対する海洋分野での我が国の積極的な貢献

- マラッカ・シンガポール海峡安全確保に必要な協力
80百万円 (外務省、国土交通省)
- ソマリア沖・アデン湾の海賊対策に必要な協力
1,400百万円 (外務省)

上記施策を含む海洋関連予算の合計額:1兆7,302億円+3,379億円

【注】(※)の額には、当該施策分を特定できない予算を含まない。